



Pack
21

Ferrari

250 GTO



Ferrari

250 GTO

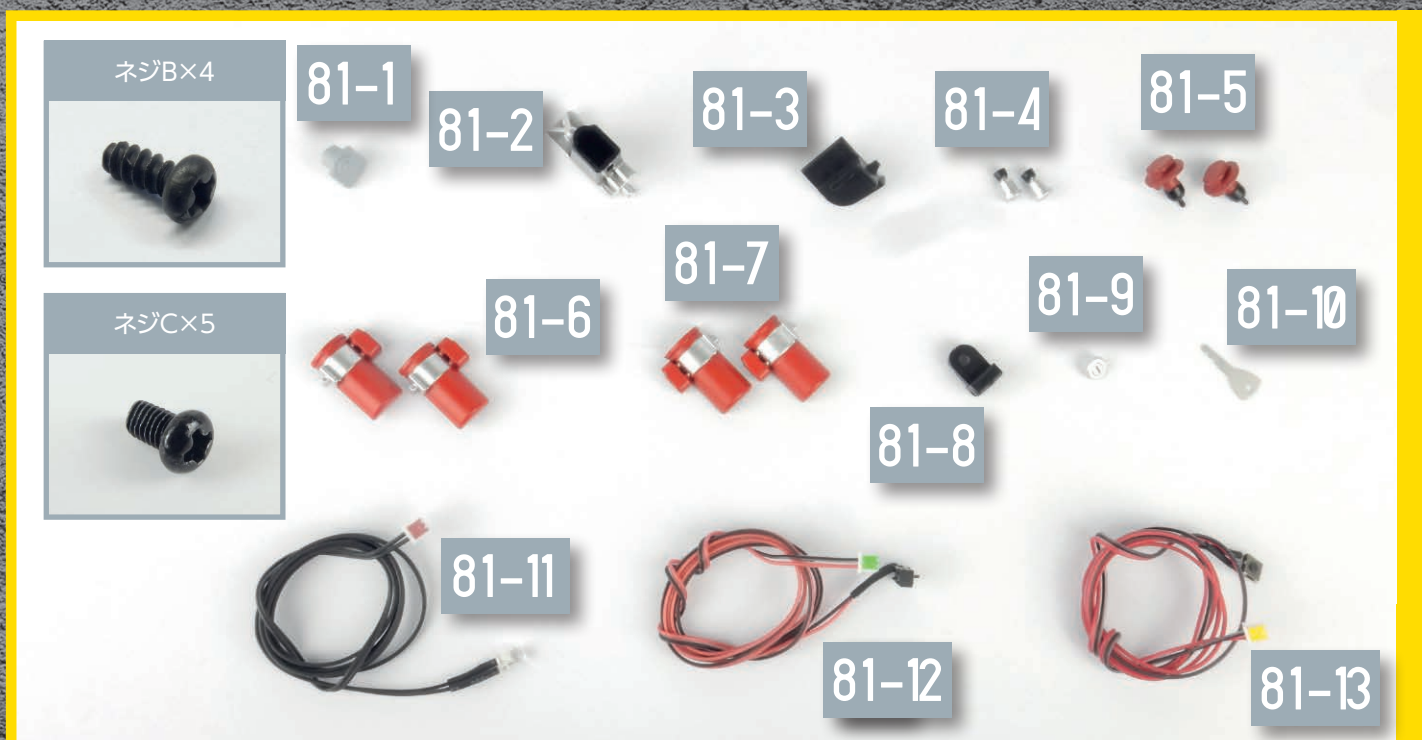
組み立てガイド

-
- | | | |
|----------------|-------------------|-------|
| STAGE81 | ダッシュボードとファイアーウォール | P.321 |
| STAGE82 | バッテリー | P.325 |
| STAGE83 | ルーフとボディのパーツ | P.329 |
| STAGE84 | リアホイール・右 | P.333 |



ダッシュボードと ファイアーウォール

ダッシュボードとファイアーウォールにさらにパーツを取り付けていく。



パーツリスト

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 81-1 モーターカバー | 81-8 スイッチブラケット |
| 81-2 ワイパーモーター | 81-9 イグニッション機構 |
| 81-3 モーターブラケット | 81-10 キー |
| 81-4 コントロール×2 | 81-11 ケーブル 1 |
| 81-5 イグニッションコイルキャップ×2 | 81-12 ケーブル 2 |
| 81-6 コイルA×2 | 81-13 ケーブル 3 |
| 81-7 コイルB×2 | |

ネジ類

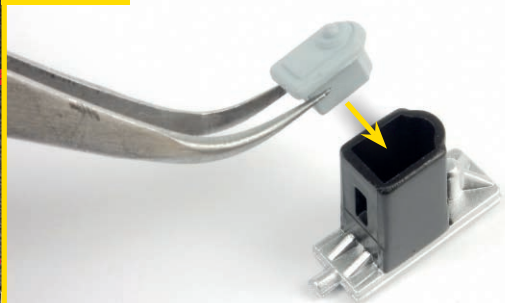
ネジB (P2.3×5 mm) ×4
(1本は予備)

ネジC (M2.3×4 mm) ×5
(1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 81

/01



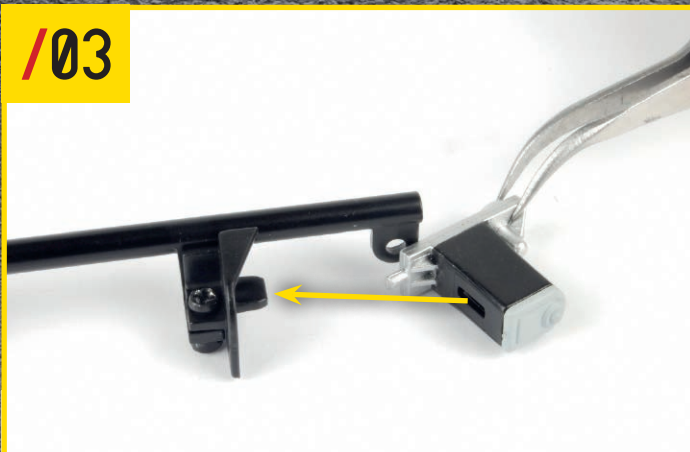
81-2(ワイパーモーター)に81-1(モーターカバー)を押し込んで取り付ける。

/02



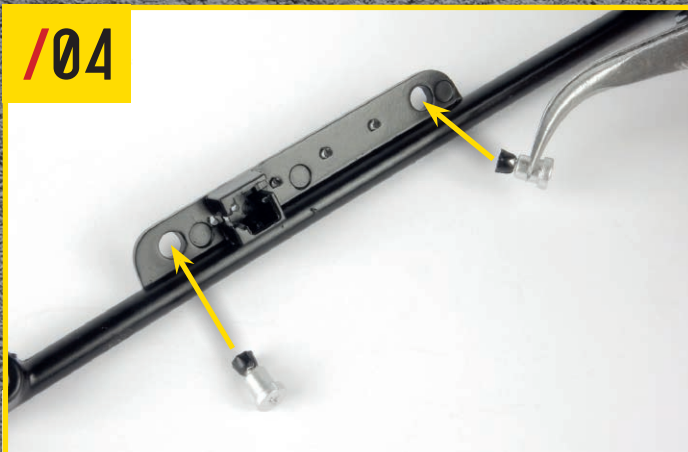
STAGE 80 で組み立てたダッシュボードサポートを用意し、81-3(モーターブラケット)を写真のようにネジBで固定する。

/03



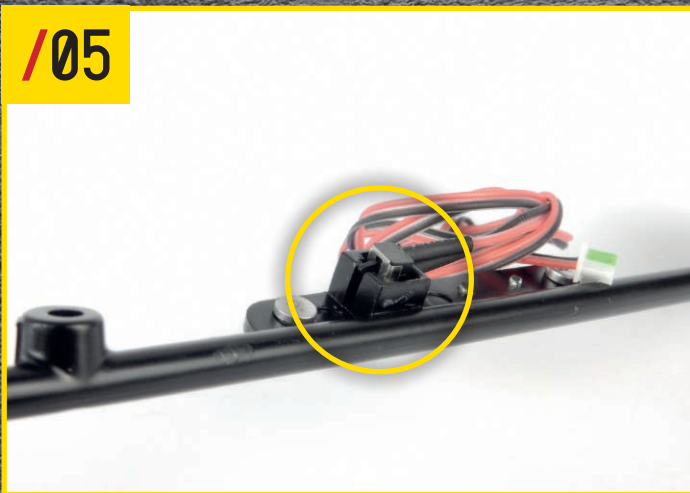
写真のように向きを合わせて、ワイパーモーターをブラケットに取り付ける。

/04



ダッシュボードサポートを裏返し、81-4(コントロール)2個を指定の穴に挿入する。

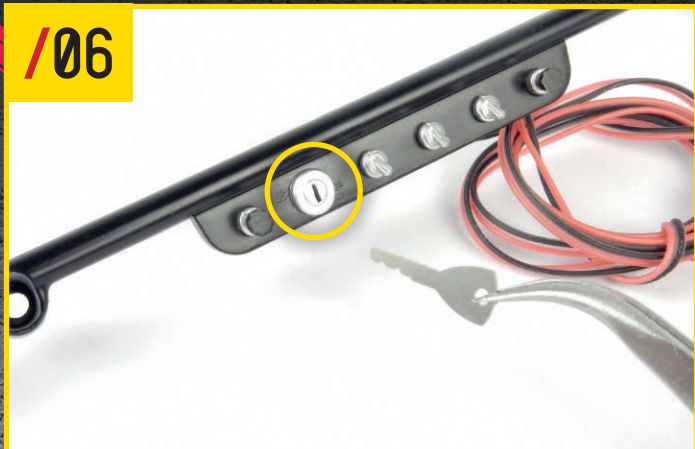
/05



81-12(ケーブル2、緑色のコネクタが付いている)のスイッチを、ダッシュボードサポート後部に挿入する。写真で向きを確認しよう。



/06

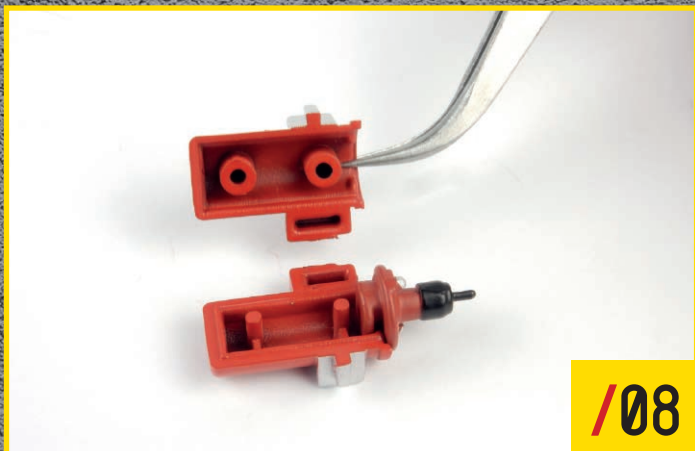


81-9(イグニッション機構)をダッシュボードサポート前面に取り付け、81-10(キー)を穴に挿入する。パーツは非常に壊れやすいので、傷つけないように注意する。



/07

キーを差し込むと、ダッシュボードのエフェクトを作動させるスイッチがオンになる。



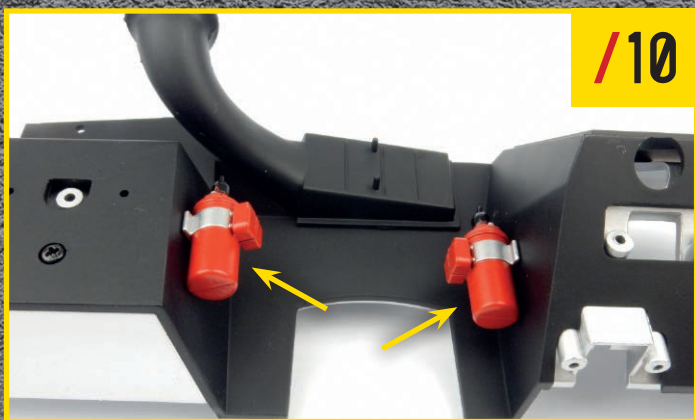
/08

81-5(イグニッションコイルキャップ)の1つを、81-6(コイルA)の内側にはめ込み、81-7(コイルB)と合わせる。

/09



同様にして、2つ目のイグニッションコイルを組み立てる。



/10

ファイアーウォールを用意する。2つのコイルを内側に軽く押し付ける感じで取り付ける。



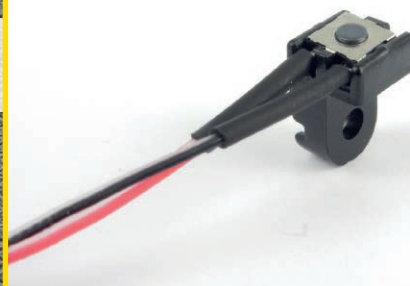
/11



ダッシュボードを用意する。81-11(ケーブル1、赤いコネクタが付いている)のLEDライトをパネルの穴に差し込む。ケーブルを傷つけないように注意しよう。

写真のように、81-13(ケーブル3、黄色のコネクタが付いている)を81-8(スイッチブラケット)に取り付ける。

/12

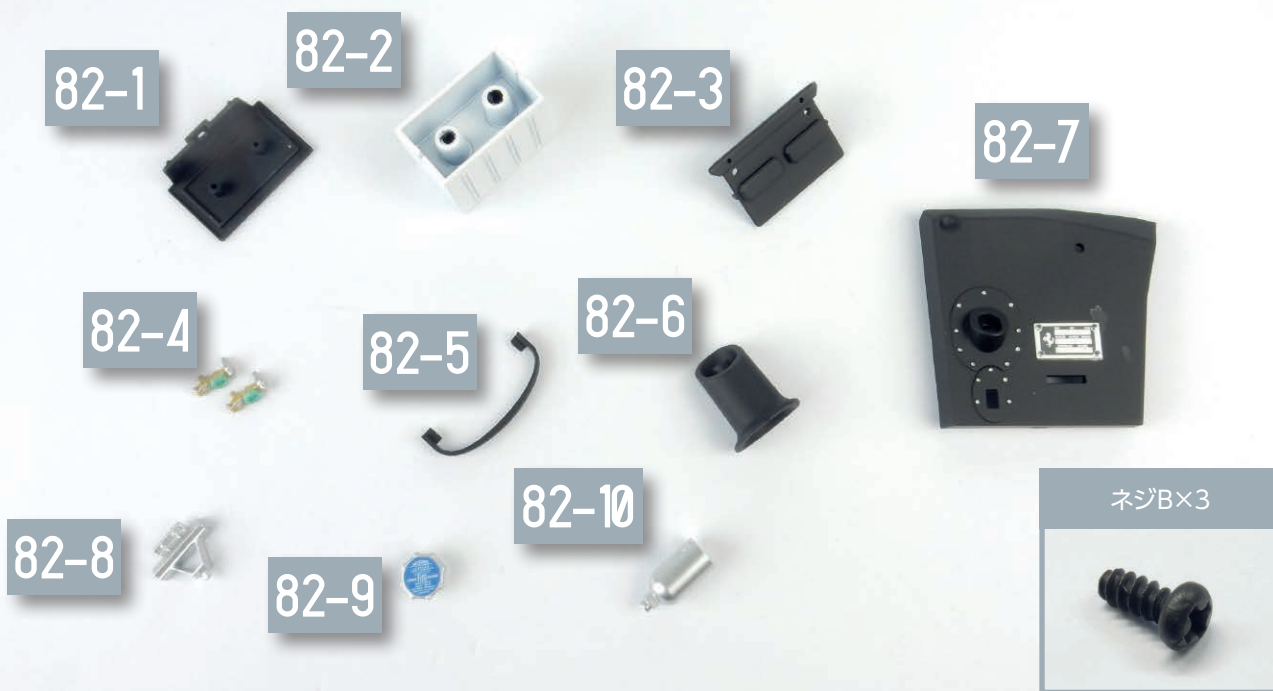


STAGE 81 の完成

ダッシュボードとファイアーウォールの組み立てが完了した。今回使わなかったパーツとともに大切に保管しておこう。

バッテリー

ステアリングコラムにパーツを加えるほか、バッテリーなどのパーツをファイアウォールに取り付けていく。



パーツリスト

82-1 バッテリートレイ

82-2 バッテリー

82-3 バッテリーカバー

82-4 クリップ× 2

82-5 ハンドル

82-6 エアダクト

82-7 車体番号プレート付きパネル

82-8 リザーバーブラケット

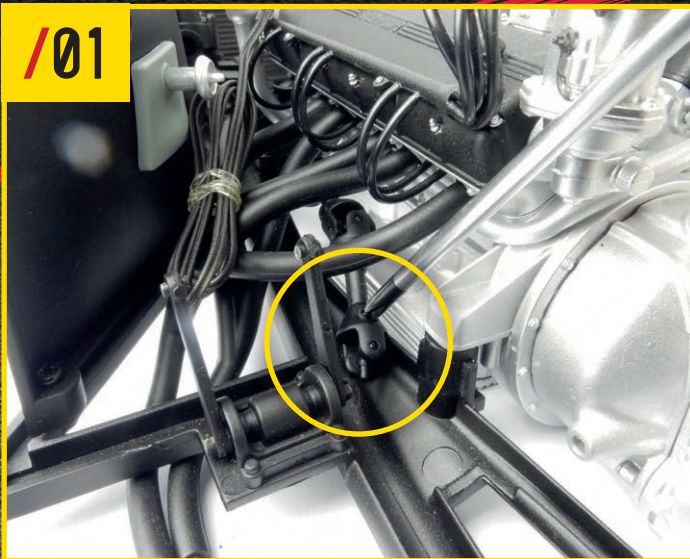
82-9 リザーバーカバー

82-10 ブレーキフルードリザーバー

ネジ類

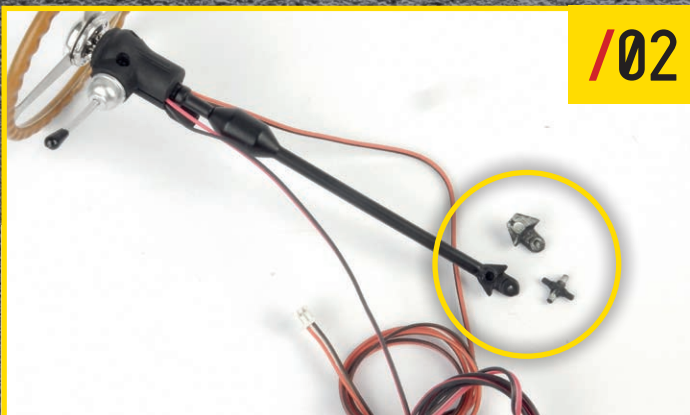
ネジB(P2.3×5 mm)×3 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締めなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。



/01

シャーシを用意する。ステアリングシャフトのアクスル端にある取り外し可能な部分(十字型の中央)のネジを取り外す。



/02

ステアリングを用意し、取り外したパーツをステアリングコラムの端にはめ込む。



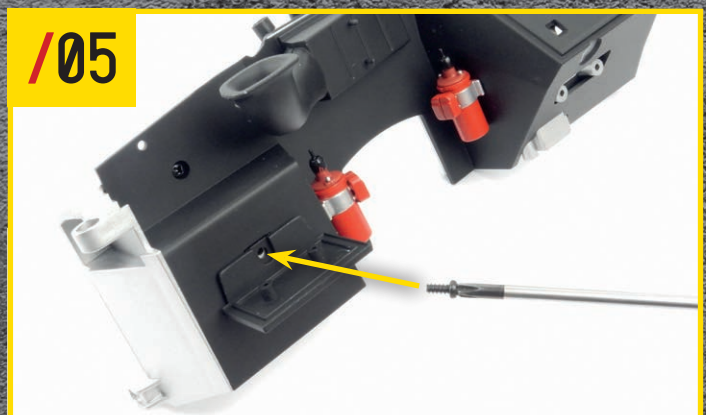
/03

82/01で取り外したネジをステアリングコラムの端にはめ込む。写真をよく見て、正しく取り付けられているか確認しよう。



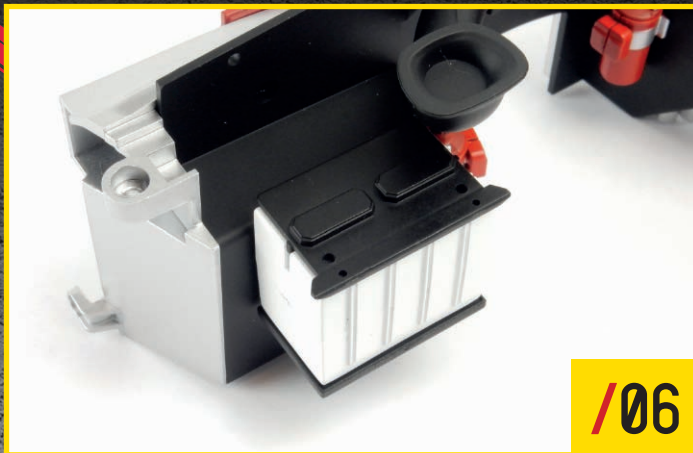
/04

組み立て中にケーブルを傷つけないように、ケーブルをステアリングホイール側に押し込んでおくとよい。



/05

ファイアーウォールに82-1(バッテリートレイ)をネジBで固定する。



/06

82-2(バッテリー)と82-3(バッテリーカバー)を取り付ける。



/07

82-4(クリップ)2個と82-5(ハンドル)を取り付ける。



/08

82-7(車体番号プレート付きパネル)に82-6(エアダクト)を取り付ける。



/09

パネルを裏返し、ネジBでダクトをパネルに固定する。

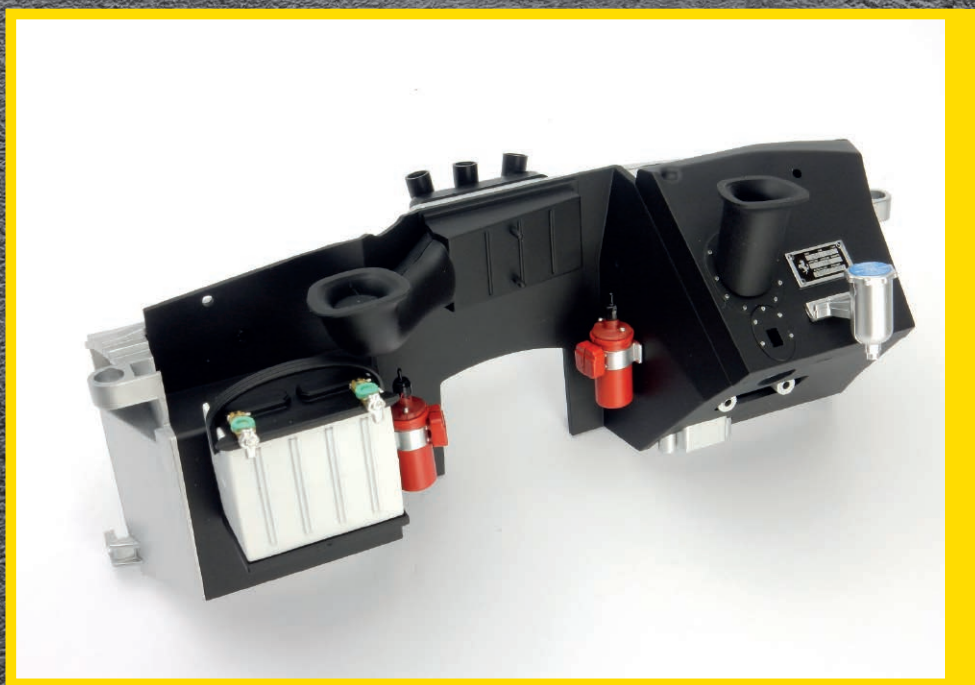


/10

パネルをファイアーウォールにはめ込み、82-8(リザーバーブラケット)を写真のように取り付ける。



82-10(ブレーキフルードリザーバー)をブラケットに取り付け、82-9(リザーバーカバー)をはめる。



STAGE 02 の完成

ファイアーウォールがここまで仕上がった。

ルーフとボディのパーツ

ボディ後部にルーフを付けていく。

STAGE 75 と STAGE 76 で保管しておいたネジやパーツを使用する。



パーツリスト

83-1 ルーフ

83-2 内部パネル

83-3 燃料タンクインレットプレート

83-4 燃料タンクフラップ

83-5 ステッカー

83-6 LEDブレーキ/パーキングライト

83-7 LED インジケーター

ネジ類

ネジN (M2.0×4 mm) ×7 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 83



/01 83-1 (ルーフ) をボディ後部に取り付ける。写真のように向きを確認しよう。



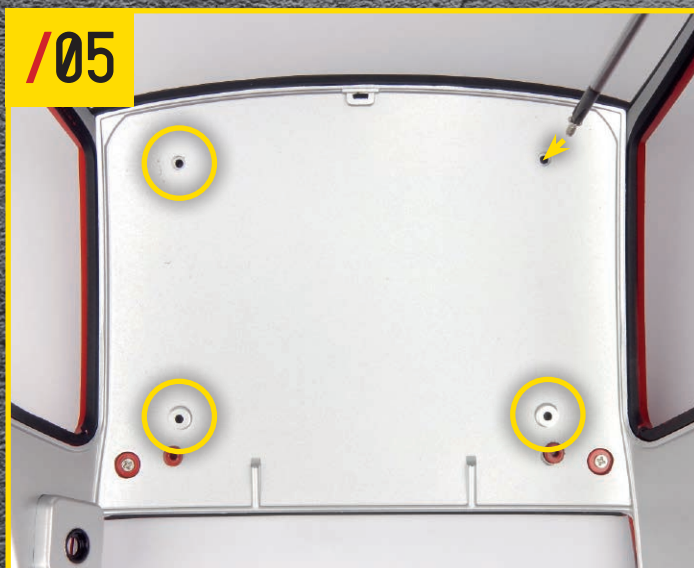
/02 内側からネジN 2本で固定する。



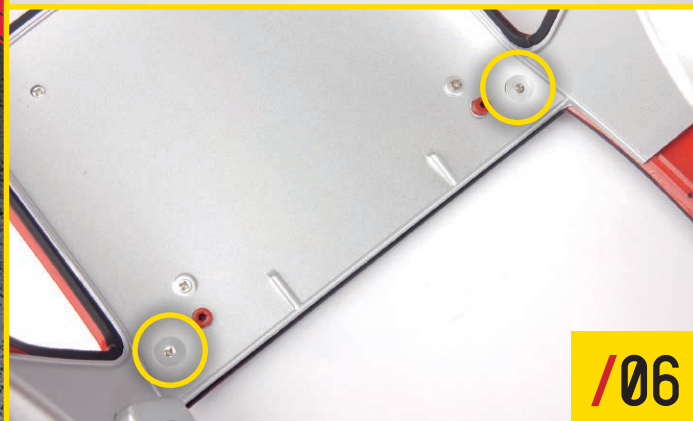
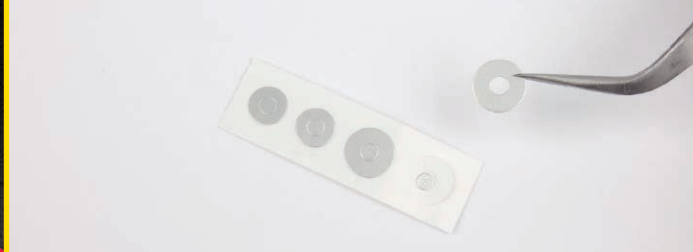
/03 **STAGE 75** と **STAGE 76** で使用したネジC 2本を指定の位置にねじ込む。



/04 83-3 (燃料タンクインレットプレート) を83-2 (内部パネル) に取り付ける。



/05 パネルをルーフとボディに取り付ける。向きをよく確認してネジN 4本で固定する。



/06

83-5(ステッカー)から大きい方のステッカー2枚を外し、写真の位置のネジ頭に貼る。



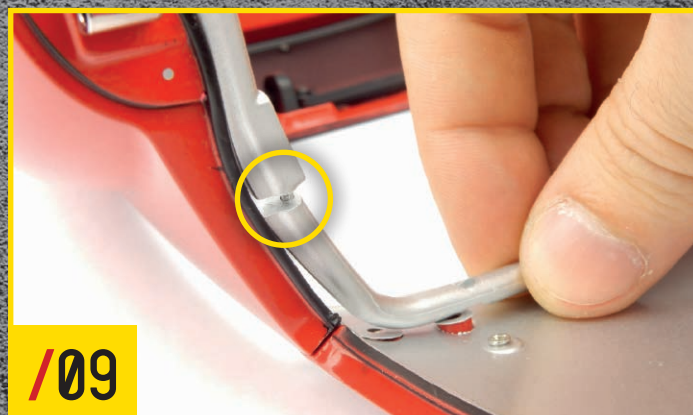
/07

同様に、83-5(ステッカー)から小さい方のステッカー2枚を外し、写真の位置に貼る。



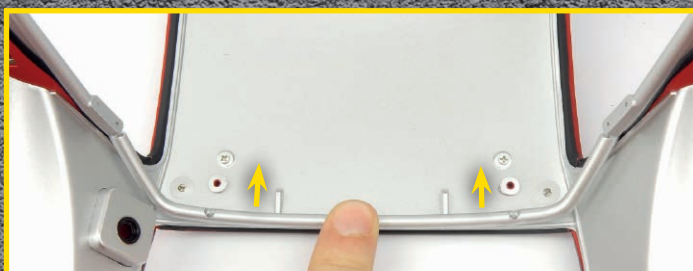
/08

STAGE 25 で保管しておいた75-7(ロールバー)を用意し、ボディ内側に写真の向きに置く



/09

サブフレームのスタッドをロールバーの端の穴に取り付ける。強く押し込まないこと。



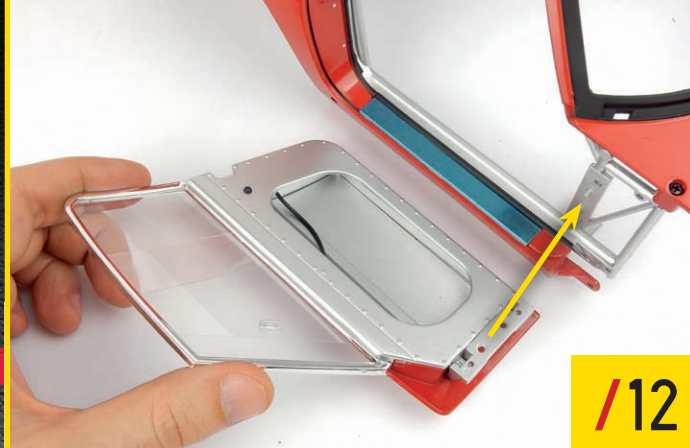
/10

ロールバーの穴とルーフの穴が合うように、ロールバーを内側に押し込む。上方に押しつけてサブフレームスタッドを完全に挿入したら、(**STAGE 25** で保管しておいた)ネジN 2本で固定する。



/11

83-4 (燃料タンクフラップ) をボディに取り付ける。



/12

右ドアをボディに取り付ける。サブフレームスタッドをドアヒンジのそれぞれの穴に挿入する。



/13

ネジC (**STAGE75** と **STAGE76** で使用) 2本を写真のようにねじ込む。左側のドアも同様に82/12と82/13の工程を行う。ネジが奥までねじ込めない場合には、事前にΦ2.3mmのタップを切っておくとよい。



/14

83-7 (LEDインジケーター、オレンジ色のコネクタが付いている) を、写真の丸印で示したボディ後部の内側にあるスロットに差し込む。次に、83-6 (LEDブレーキ/パーキングライト、赤いコネクタが付いている) を、矢印で示したスロットに差し込む。



STAGE83 の完成

ボディがここまで組みあがった。他のパーツとともに大切に保管しておこう。

リアホイール・右

ダッシュボードとステアリングホイールをボディにはめ込み、右側のリアホイールの組み立てを始めよう。

84-1



84-2



84-3



84-4



84-5



84-6



84-7



パーツリスト

84-1 インナーホイールリム

84-2 スポークハウジング

84-3 タイプBハブ

84-4 タイプAハブ

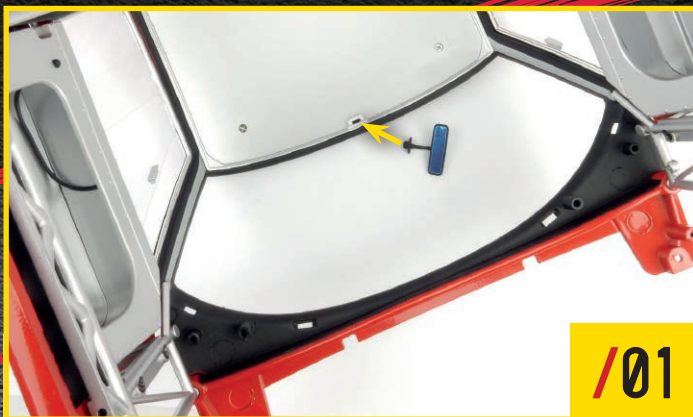
84-5 タイプCハブ

84-6 タイプAスポーク×13本(1本は予備)

84-7 タイプBスポーク×3本(1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE84



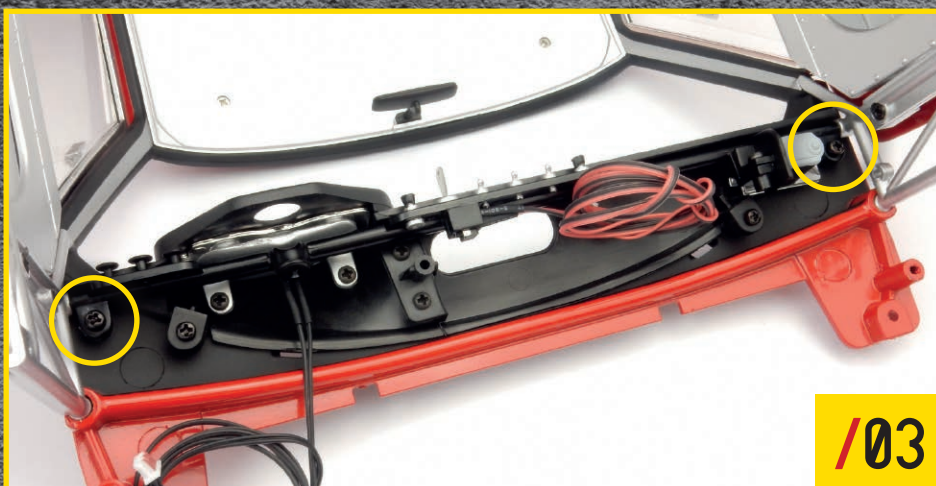
/01

STAGE79 で保管していた79-6(バックビューミラー)をルーフ内側に取り付ける。組み立て途中にミラー表面を傷つけないよう、青いフィルムはしばらく剥がさないでおく。



/02

ダッシュボードを用意し、ボディ内部の所定の位置にはめ込む。STAGE81 で使用したネジC 2本で固定する。



/03

ダッシュボードサポートを写真のように取り付け、ネジC 2本(STAGE81)で固定する。



/04

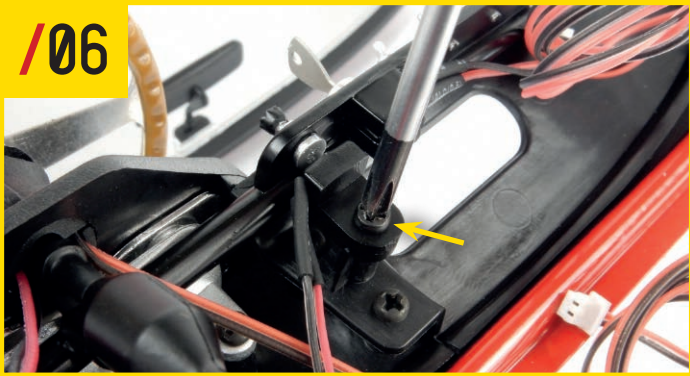
ステアリングホイールを用意し、ステアリングコラムを両ケーブルごとダッシュボードの穴に差し込む。



/05

ネジB 1本(STAGE81)で固定する。

/06



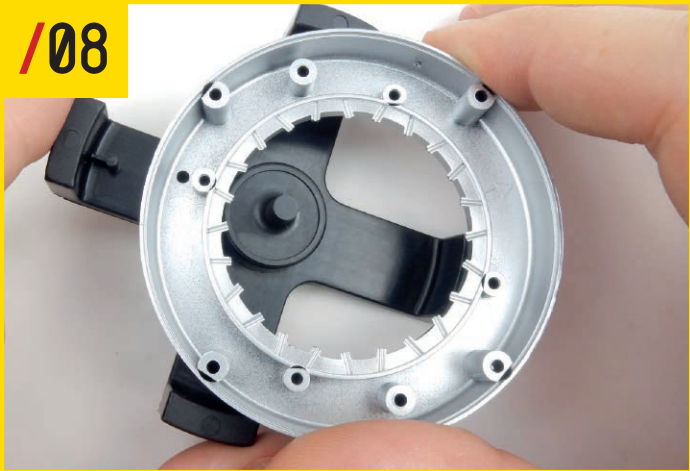
STAGE 01 で組み立てたスイッチブラケットをダッシュボード下側の位置に取り付け、ステアリングホイールとキーの間にあるコントロールに合わせ、ネジB (**STAGE 01**) で固定する。



/07

STAGE 05 で保管しておいた75-8 (消火器) を右ドアのサブフレームに取り付ける。

/08



84-1 (インナーホイールリム) を 21-1 (組立ジグ) に固定する。組み立てを進める前に、両面テープを小さく切って、ジグ中央のスタッド四隅に貼り付けておくとよい。次にハブを所定の位置に置くとときに安定させることができる。

/09



84-3 (タイプBハブ) をジグの中央スタッドに置き、その上に84-4 (タイプAハブ) を合わせる。スポークを取り付ける前に、インナーリム内に小さく切った両面テープを貼り付けよう。こうすることで、スポークを所定の位置に留めておくことができる。

※両面テープはホイールから外側にはみ出さないように注意する。

/10



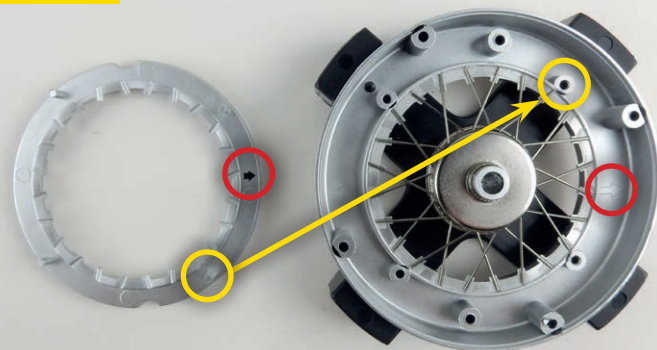
84-7 (タイプ B スポーク、タイプ A より短い) を、84-4 (タイプ A ハブ) 下の穴の列に取り付けていく。各スポークは、まずフックの端を挿入し、それからまっすぐな端の方を、両面テープを貼ったリムのノッチに配置していく。B スポークをすべて組み込んだとき、両隣の穴はそれぞれ空いている。

/11



次に、84-6(タイプ A スポーク、タイプ B より長い)を取り付けよう。フックの端を84-7(タイプ B スポーク)のすぐ左の上にある穴に、Bスポークの上を通過するように挿入する。

/12



最後に、84-2(スポークハウジング)をインナーホイールリムの内側にはめ込む。写真の矢印のように正しく合わせよう。



STAGE84 の完成

右側のリアホイール。次の組み立て作業まで大切に保管しておこう。